

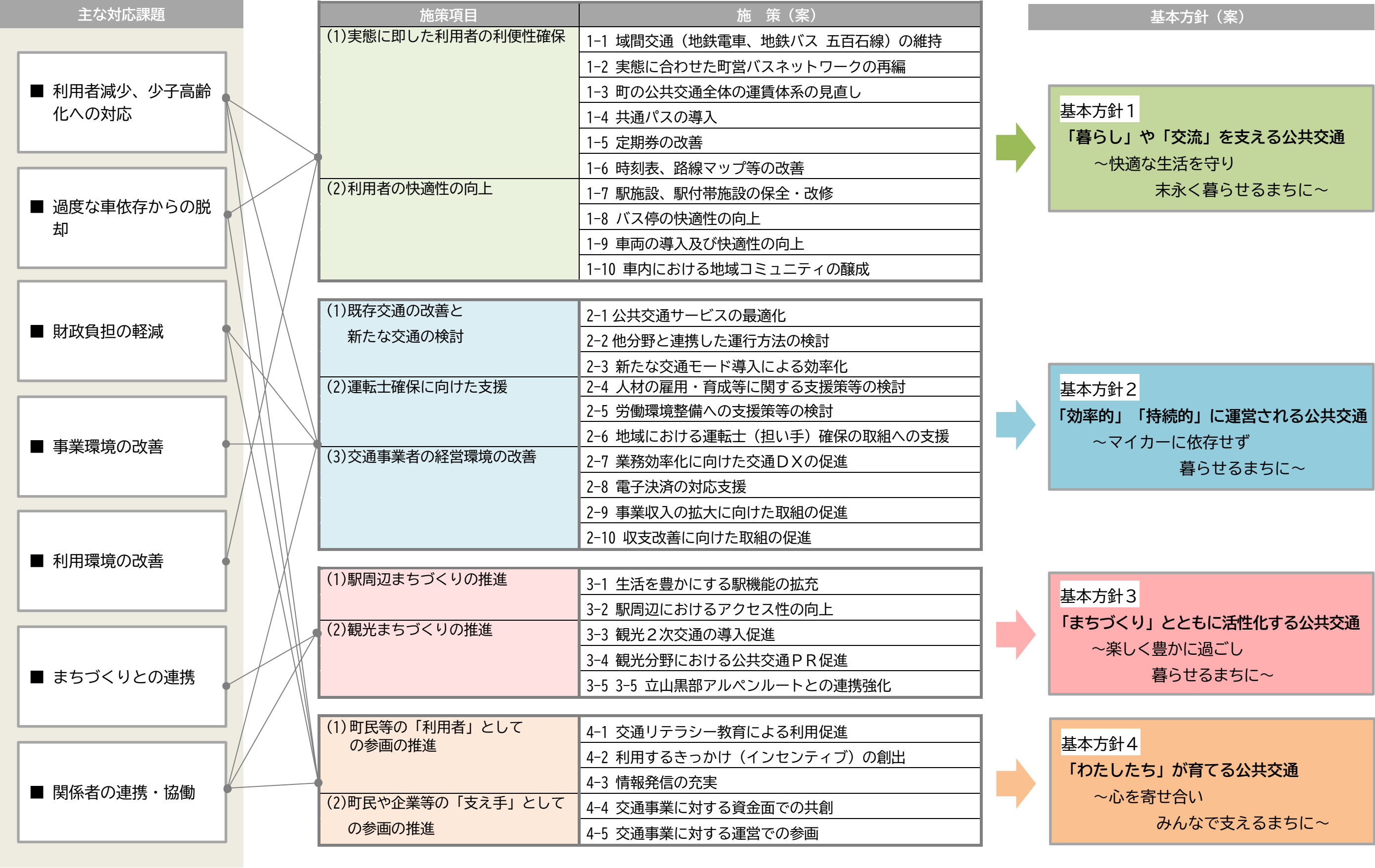
立山町の公共交通の課題、施策、取組の方向性等について

(1) 立山町の公共交通の7つの課題

課 題	内 容	関連が深い 現況や調査結果等
1 利用者減少、少子高齢化への対応	●公共交通の利用者は、コロナ禍以前の水準には回復していません。 ●今後更なる人口減少や少子高齢化が見込まれます。 ▶公共交通サービスを維持するためには潜在需要の獲得に向けた取組を講じる必要があります。	・電車やバスの利用者の減少 ・町営バスの利用者の低迷 ・人口減少、少子高齢化 ・高校生の高い転換意向 ・通勤、買い物等での転換意向
2 過度な車依存からの脱却	●本町の公共交通利用率は低水準です。 ●地元企業の通勤手段はほとんどが車です。 ●車を今後も乗り続けたい高齢者が多い状況です。 ▶公共交通サービスを維持し、生活を支える足としての機能を担保するためには、町民の公共交通に対するリテラシー（利用習慣）を高める必要があります。	・低水準の公共交通利用率 ・社員や施設利用者の車依存 ・高齢者の車依存
3 財政負担の軽減	●公共交通に関する財政負担は増加傾向です。 ●町営バスはサービス水準と利用状況のミスマッチが生じています。 ▶税金投入による公共交通の維持を求める町民ニーズを踏まえつつ、公共交通サービスを維持するためには、交通網の再編、新たな収入源の確保等により財政負担を軽減する必要があります。	・公共交通の財政負担の増加 ・町営バスの利用者の低迷 ・運賃や運行時刻、乗り継ぎに不満
4 事業環境の改善	●交通事業者では、深刻な運転手不足や運行経費の増加など厳しい事業環境が顕在化しています。 ▶公共交通サービスを維持するためには、事業者による共創やIT化による業務の合理化などの事業環境の改善が必要です。	・運転手の確保、運行経費の増加が大きな課題 ・IT化の遅れ
5 利用環境の改善	●利用環境の一部では評価が低く、特に地域等とのWSでは多くの改善アイディアの提案があります。 ▶公共交通の利用を促進するためには、このような住民ニーズを踏まえた利用環境の改善が必要です。	・WS町民の視点（取組のアイディア）
6 まちづくりとの連携	●地域等とのWSでは、まちの魅力づくりや他分野の施策との連携についての提案があります。 ▶公共交通の活性化に向けては、本町の大きな特性のひとつである観光分野を含め、まちづくりと連携した取組を進める必要があります。	・まち中心部の空洞化 ・観光客の増加 ・観光で多い鉄道利用 ・WS町民の視点（重要なこと、問題点）
7 関係者の連携・協働	●様々なアンケート調査やWS等からは、公共交通への関与を強化したいといった町民や企業等の意向が見られます。 ▶公共交通の活性化に向け、限られた交通資源を有効活用するには、このような気運の高まりを活かしながら、町民や企業等との連携・協働による取組を推進する必要があります。	・町民の参画 ・担い手・支え手としての参画

(2) 施策・事業の方向性

昨年度の現況把握及び各種調査結果を踏まえ主な対応課題を抽出した上で、住民等WSや法定協議会での意見を踏まえ、「施策（案）」と事業の「基本方針（案）」の検討を行いました。
また、本計画において重点的に推進する事業（案）を次頁以降に示します。



基本方針1 「暮らし」や「交流」を支える公共交通 ～快適な生活を守り末永く暮らせるまちに～

主な対応課題		施策項目	施策（案）	事業（案） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（案）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ 利用者減少、少子高齢化への対応	■ 過度な車依存からの脱却	(1)実態に即した利用者の利便性確保	1-1 域間交通（地鉄電車、地鉄バス 五百石線）の維持	・ 国や県の補助を活用した交通事業者への財政支援（継続、新規）補	交通事業者への財政支援の検討／地域間幹線系統確保維持費補助金／市町村運行バス路線対策費補助金	No. 1, 4, 76
			1-2 実態に合わせた町営バスネットワークの再編	・ 重点事業 需要や生活圏などライフスタイルに合わせたルート・ダイヤの見直し ・ 重点事業 こどもや高齢者等の交通弱者が自由に動けるルート・ダイヤの設定 ・ 域間交通との乗り継ぎの円滑化 補	ルート、ダイヤ、乗り継ぎの見直し	No. 30, 31, 32 37, 38, 73, 74, 75 79, 84, 90, 106, 108, 109, 111, 119, 120
			1-3 町の公共交通全体の運賃体系の見直し	・ 分かりやすい運賃体系への見直しの検討 ・ 運賃の適正化	距離制運賃や均一運賃の見直し／分かりやすい運賃への見直し	
			1-4 共通パスの導入	・ 相互利用可能な共通おでかけパスの導入	交通事業者同士の割引連携／おでかけ定期の連携	No. 79
			1-5 定期券の改善	・ 重点事業 学生や高齢者等のターゲットに向けた定期券補助の拡充 ・ たてぽや交通系 I C カードと定期券の連携 ・ 団体（企業、高等学校）申請受付制度の導入検討	交通事業者の連携・共通化／雄山高校生の定期券補助／割引負担者や対象年齢の見直し	No. 37, 38, 105, 107, 108, 110, 111
			1-6 時刻表、路線マップ等の改善	・ 町内公共交通の統一時刻表の作成 補 ・ 主要駅におけるとやまロケーションシステム機能の拡充 補	分かりやすい、便利な時刻表への改善／Free Wi-Fi 活用による情報提供の拡充／デジタルサイネージの設置	No. 95
	■ 利用環境の改善	(2)利用者の快適性の向上	1-7 駅施設、駅付帯施設の保全・改修	・ 駅舎及び駐輪場等の付帯施設の保全 補 ・ 実態に即した送迎スペースの整備 補	ベンチ、トイレ、柵、駅舎、駐輪場の修繕／送迎スペースの整備	No. 34, 35
			1-8 バス停の快適性の向上	・ 重点事業 空き家や店舗等を活用したバス停上屋・ベンチの設置 補 ・ 主要バス停における情報タブレットやQRコードの設置 補	上屋・ベンチ等のバス停環境の整備／Free Wi-Fi 活用による情報提供の拡充	No. 78, 109
			1-9 車両の導入及び快適性の向上	・ 環境に配慮したバス車両の導入 補 ・ 安全・安心な運行に向けた車両及び線路の老朽化への対応 補 ・ 車両・路線のナンバリング及びカラーリングによるバリアフリー化 ・ デザインとサービス一体化による交通ブランディングの検討 補	電気・ハイブリッド車両等導入によるGXへの対応／デザインによるバリアフリー化／車両の老朽化・乗り心地改善への対応（線路・枕木）／公共交通ブランディング（イメージ戦略）の検討	No. 84, 94
			1-10 車内における地域コミュニティの醸成	・ 地域コミュニティ醸成のためのアナウンス等の車内サービスの検討 補 ・ 車内交流活性化のための学生介助員やアテンダントの設置検討	清掃やアナウンス、音楽等による車内環境の改善／学生ボランティアやアテンダントの活用／地域コミュニティの醸成	No. 31, 73

基本方針 2 「効率的」「持続的」に運営される公共交通 ～マイカーに依存せず暮らせるまちに～

主な対応課題	施策項目	施策（案）	事業（案） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（案）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ 利用者減少、少子高齢化への対応 ■ 財政負担の軽減 ■ 事業環境の改善 ■ 関係者の連携・協働	(1)既存交通の改善と新たな交通の検討	2-1 公共交通サービスの最適化	・ダイヤ・車両・人材の合理化の検討 補 ・タクシー活用による車両の小型化の検討 補 ・交通事業者間の連携による運行の共同化の検討 補	乗車密度に応じた便数設定やパターンダイヤの検討／バス車両のダウンサイジングの検討／事業者間での人材・車両の連携	No. 29, 75
		2-2 他分野と連携した運行方法の検討	・ 重点事業 スクール、福祉、町営バスの一括委託による効率化の検討 補 ・ スクールバス、福祉バスへの混乗可能性の検討 補 ・ 病院等の施設送迎バスとの混乗可能性の検討 補	スクールバス、福祉バス、病院送迎バス等の他分野との共創／空き時間活用や混乗可能性の検討	No. 48, 49, 50, 51, 120, 127, 128
		2-3 新たな交通モード導入による効率化	・ 重点事業 A I オンデマンド交通の導入検討 補 ・ タクシーの乗合化、補助の導入検討 補 ・ 住民等による自家用有償旅客運送の導入検討 補	デマンド化やタクシー補助による効率化の検討／ライドシェア、シェアタクシー、小型モビリティ、自家用有償旅客運送等の交通モードの検討	No. 24, 51, 62, 71, 76, 77, 117
	(2)運転士確保に向けた支援	2-4 人材の雇用・育成等に関する支援策等の検討	・ 就職説明会の開催等の人材の共同募集 補 ・ 交通事業者職場体験会の開催	人材の共同募集／交通事業者見学会	No. 2, 3, 4, 5, 6, 7, 20, 21, 22, 23, 26, 27, 52, 71, 97, 98, 102, 103, 104, 121
		2-5 労働環境整備への支援策等の検討	・ 国や県と連携した資格取得や研修参加への支援、P R 補 ・ トイレや仮眠室・休憩室等の施設整備 補	研修や資格取得支援／厚生労働省支援の情報提供	
		2-6 地域における運転士（担い手）確保の取組への支援	・ 重点事業 町内における有償送迎者の募集・育成方法の検討	町内での有償送迎者募集／運転手不足への対応	
	(3)交通事業者の経営環境の改善	2-7 業務効率化に向けた交通DXの促進	・ 運行管理システム・配車アプリの導入支援 補	バス乗降センサー設置等によるデータ収集の効率化／配車業務の効率化／交通DXによる業務改善支援	No. 70, 71
		2-8 電子決済の対応支援	・ 全国共通の交通系 I C カードとの連携支援 補	全国共通交通系 I C カード	No. 70
		2-9 事業収入の拡大に向けた取組の促進	・ 車内やイベント等での物販事業の強化への支援 ・ 鉄道ファン体験ツアー等の受入れ環境整備への支援	グッズの拡充／車内での特産品の販売等の検討／鉄道の体験ツアー、展示	No. 70, 72, 95
		2-10 収支の改善に向けた取組の促進	・ 各交通モードにおける国庫補助の活用検討 補 ・ 立山線再構築事業の検討・実施 ・ 重点事業 立山線再構築事業の実施 補 ・ 立山線等の存続のあり方検討会での検討継続	補助の活用検討／鉄道事業の上下分離や経営統合の検討	No. 28, 39, 70

基本方針4 「わたしたち」が育てる公共交通 ～心を寄せ合いみんなで支えるまちに～

主な対応課題	施策項目	施策（案）	事業（案） ※ 補：国等において関連する補助メニューがある事業	事業（案）から連想される キーワード	協議会の 意見と対応 （意見 No.）
■ 利用者減少、少子高齢化への対応	(1)町民等の「利用者」としての参画の推進	4-1 交通リテラシー教育による利用促進	・ 重点事業 学校と連携した職業体験や利用促進策の検討（こどもMM※） 補 ・ 重点事業 職場や企業誘致と連携した利用促進策の検討（職場MM） 補 ・ 重点事業 ライフイベントと連動した利用促進策の検討（転入MM、免許返納MM） 補 ・ 介護予防と連携した利用促進策の検討（介護MM） 補	環境教育との連携／役場や駅周辺企業との連携／転入や免許返納を契機とした情報提供や乗車体験会の開催	No. 5, 42, 43, 45, 70, 88, 117, 118, 122, 123, 125, 126
		4-2 利用するきっかけ（インセンティブ）の創出	・ 重点事業 イベント、企画切符、ポイントの拡大等の各種割引検討による利用促進 補 ・ 重点事業 体験乗車会等の開催 ・ 既存おでかけ事業等と連携した利用促進 補 ・ 交通業務見学会、交通イベントの開催 補	たてボの分野連携の検討／1日無料券、お帰り乗車券等の企画切符の導入検討／立山あーとれいん、親子おでかけ事業、「電車・バスで行こう！」キャンペーン等の利用促進	No. 5, 35, 42 43, 45, 70, 74, 82 89, 124
		4-3 情報発信の充実	・ 各種PRツールを用いたおでかけを誘発する情報発信の強化	HP・広報誌・SNS・Ma a Sアプリ・中吊り広告等の充実	No. 5, 44, 45, 70, 125
■ 財政負担の軽減	(2)町民や企業等の「支え手」としての参画の推進	4-4 交通事業に対する資金面での共創	・ 企業・店舗等の協賛金の導入 補 ・ 重点事業 ふるさと納税等による応援制度の導入 ・ 地域負担金による地域交通の維持 補	広告収入、ネーミングライツ等による店舗の協賛金の導入／町内負担金の検討／クラウドファンディング、ふるさと納税、株主制度等による応援制度の検討	No. 61
		4-5 交通事業に対する運営での参画	・ 重点事業 交通事業に関する住民意見交換会の開催 補 ・ 法定協議会、地域公共交通会議の定期開催 ・ お掃除ボランティア登録制度の導入 ・ バス停デザインなど学生と連携した情報発信等の強化 補 ・ 多手山プロジェクトへの参加促進 ・ 重点事業 店舗や施設、住民と連携した待合場所等の快適性の確保 補 ・ 運行エリアへのトリガー方式の導入 補 ・ 芦峯寺線の維持 補	意見交換会、お掃除ボランティア、多手山プロジェクトによるワガコト化／大学生との連携／空き家や店舗を利用したバス停上屋の設置検討／店舗カート置き場等の工夫による待合改善	No. 40, 41, 46, 86 87, 111
■ 関係者の連携・協働					

※MM（モビリティ・マネジメント）
1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策